

同姓同名

中野
劇団

同姓同名

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

男 1

男 2

男 3

百合子の母

女医

病院。集中治療室の前の廊下。

男 1、登場。慌てて駆けつけた様子。三十路でしっかりした感じ。

母、登場。飲み物を買って来たか。

母 ?

あの、大倉百合子おおくらゆりこさんが事故に遭ってこちらの病院に来てるって聞いたんですが。こちらで？

母 ええ。

男1 百合子さんは？

母 今検査中で……。大したことはないみたいで。

男1 そうですか。良かった……。

母 ……あのう、百合子とはどういった……。

男1 あ、ご挨拶が後になってすいません。私、百合子さんとお付き合
いさせていただいております近藤と申します。

母 あー。どうも百合子がいつもお世話になってます。

男1 あ、いえ、こちらこそ。

母 ……いやあもう、びっくりしたでしょ？

男1 ええ。

母 病院から連絡があったんですか？

男 1

ええ。

母

その、見たた人が言うには、百合子、車に当たってなかったのに、事故見てよろよろって倒れてしまっって。一応運んどこかかってなっ
たみたい。

男 1

そうでしたか。いやあでもちよっとホッしました。

母

ホント。どうぞどうぞ座って下さい。近藤さんって方とお付き合
いしてるっていうのは娘からも聞いてたんですけど、なかなかの
イケメンな。

男 1

いえいえ。

母

お仕事申やったんやないんですか？

男 1

や、今日はたまたまオフやったんで。

母

どんなお仕事？

男 1

役者をやってまして。

母

そうですかあ。そうなんですかあ。

男 1

いえそんな。

男2登場。二十代前半位。

母 あなの？

男2 あなの、百合子さんがこの辺に運ばれたって聞いたんですけど？

母 あ、はい？

男2 えっと……。

母 あ、百合子の母です。今検査中なんですけど、全然大したことはないみたいです。

男2 ああ、良かった。そうですか。

母 どちらさままで？

男2 あ、あの、僕、百合子さんの彼氏っていうか。

母 彼氏？

男1 ？

男2 ……。

母 え？

男2 ……あー、百合子さんから、聞いてないですか？ 近藤って言うんですけど。

男1 え？

母 いえ、ああ。えっと。近藤さんという方とお付き合いしていると
いうのは聞いてたんですけど。

男2 あ、そうですか。

男1 百合子さん？

男2 (男1に) 百合子さんのお兄さんですか？

男1 あの、今何ておっしゃいました？

男2 ……百合子のお兄さんですか？

男1 じゃなくて。百合子さんと付き合ってるんですか？

男2 ええ。

男1 ……近藤さんって言うんですか？

男2 はい。

男1 ん? ……えっと、昔の彼氏とか?
男2 ん? 何すか? 喧嘩売ってます?
男1 (母に) 百合子さんから、何か聞いてます?
母 (いやあ。)
男2 え? どうしたんですか?
男1 僕も付き合ってるんやけど。
男2 ……付き合ってる?
男1 はい。
男2 付き合ってるって、……百合子と付き合ってるんですか?
男1 ええ。あなたも?
男2 はい。
母 で、彼も近藤さんって言うみたいで。
男1 え?
男1 ……。
男2 近藤さんっていうんですか?

男1 ええ。

男2 俺も近藤です。

男1 そうなん？

男2 近藤誠って言います。

男1 ええ？

男2 え？

男1 (僕も) 近藤誠……。

男2 ええ？

母 ええ？

男1 何これ。

男2 何ですかこれ、悪戯か何かですか？

男1 いえ。あ……。

男1、2免許証を見せ合う。

男1 ホンマですね……。

母 字も一緒のマコトやね。不誠実の誠せいの。

男2 誠実の誠です。……これって……。

男1 これ、僕ら、百合子に二股かけられてたってことやんね……。

男2 はあ……。

男1 お母さん、何か聞いてないですか？

母 いやあ。近藤さんって方と付き合ってるってしか……。

男3、登場。初老の雰囲気。

男3 あの……。

母 はい？

男3 大倉百合子さんのご家族の方でいらっしやいますか。

母 え？ ええ。

男3 病院から連絡がありましたて、百合子さんがこちらに運ばれたと聞

き。慌て駆けつけた次第でございまして。あ、申し遅れました。私、大倉百合子さんとお付き合ひさせていただいてます——

母に名刺を差し出す男3。

男3 —— 近藤誠と申します。

男1、2 え！

母 ……。

男3 本来ならばご挨拶傍々お伺いすべく思っていたところ、このよう
な形になってしまいました。歳の差二回り程空いてはおりますが、
真剣にお付き合ひさせて頂いていただいております。

男3 百合子さんのご容態は？

母 本当に大したことないみたいです。

男3 そうでしたか。それは良かった。

男2 何これ……。

男3 百合子さんのお母様ですか？

母 はい……。あの。

男3 (男1、2に) お兄様でいらっしゃいますか？

男1 あ、いえ。……百合子さん、何考えてるんですか。

母 (男1に) これってホンマに何もないんですか？

男1 いや僕もびっくりしてるんですけど。

男3 百合子さんに何かあったのでしょうか？

母 あのう……三人目なんです？

男3 三人目？

男1 今ちよっと信じられない状況になってるんですけど。

男3 はい？

男1 僕も百合子と付き合ってた、近藤誠って言うんです。

男2 僕も百合子と付き合ってた、近藤誠って言うんです。言うてるこ

と真似したみたいになってますけど。

男3 え？

男1 今付き合ってるんですか？

男3 はい。

母 あの……、近藤さん。

男1 ……どの？

母 いやあの、みんな。みんな、百合子と付き合ってるのは自分だけって思ってたんかな？ 他にも付き合ってる人おるってわかってて付き合ってたわけやなくて？

男2 いや知らなかったですけど。

男1 僕も……知ってたらこんな。

男3 お二方本当に近藤と言うのですか？

男1、男2、免許証を男3に見せる。

男3 ええ？ これは……何ですか。

男2 これってね、意図的ってことですよね？ たまたま二股、三股か

けた相手がみんな同じ名前やったなんてわけないですよ。近藤
誠やからですよ。

男3 お二方は知り合い？

男2 いえ、あなたが来るちょっと前に初めて会ったんです。

男3 ああ……。

男1 百合子さんこれ何考えてるんですか？ 百合子さんから何も聞いてなかったんですか？

母 いやあねえ。近藤さんって人と付きあってて、いろいろ話は聞いてたんですけど。……クラブに連れて行ってもらったって。

男2 あ、はい（俺です）。

母 この前トライアスロンの大会に参加したって。

男1 トライアスロン（僕です）。

母 碁も嗜んでるって。

男3 碁会所に通っております。

男2 （母に）おかしい思わなかったんですか！

母

多趣味な方なんかなって。……皆さんはこれ別にふざけてやるわけじゃないんですよね？

男1

ええ。

男2

ふざけてんのは百合子の方ですよ。

母

ああ……。皆さんは百合子とはいつから？

男1

僕は二〇〇五年からなんで、もうすぐ丸七年。

男2

俺は一年半くらい。

男3

今年の六月末頃からお付き合ひさせていただいております。

母

じゃあ、こうなって（付き合ひが長い順）もらえますか？

男1

え何ですか。

男3

病院から連絡あったんですけど。お二人もですか？

男1

はい。

男2

三人の連絡先が携帯に登録されてて連絡くれたとしても、普通近藤誠一人に連絡繋がったらあとの二人にかけないですよ。何で三人ともにかけてるんですか。

男1 どういうことですかお母さん。

母 いやあ……。

男2 ちよつとありえないですよね……。

母 ……皆さん同一人物ってわけでもないですよね。

男2 どういう意味ですか？

女医登場。(確か看護師は診断できないため医者で)

女医 あの、百合子さんのお母様にご主人様でいらっしやいますかね？

母 いえ、主人では……。

女医 お母さんですか？

母 はい。

男1 あの、病院から連絡貰ったんですけど。

女医 あ、はい。

男1 三人に連絡しました？

女医

連絡させていただきました近藤誠さんでよろしいですね。事故の
場合はご本人の携帯を確認させていただきまして。

男1

あの、三人に連絡しました？

女医

そうですね。近藤誠さんですか、電話帳に並んでましたので。

男1

でも普通ひとり繋がったらかけないでしょ？

女医

念には念をと。三人。

男1

三人揃ったのを見て。

女医

いえそんな。

男1

面白いでしょうね。

女医

まさかそんな。

男1

おかしいと思いませんでした？

女医

三つ近藤誠が並んでるなくらいには思ってたんですが。

男1

笑い噛み殺してるやないですか。

女医

とんでもないです。で、お母様、お嬢様の容態ですが、車に当たっ
てないので、内臓に損傷もなく、お腹の赤ちゃんも無事です。ま

あ事故で強い衝撃を受けてる様子はないですけど、一応しばらく様子は見た方がいいですが。

男1

……ん？

母

え？

母

あの、赤ちゃんが？

女医

お嬢様からお聞きでないですか？ 今、妊娠四か月目に入っています。大事をとって入院していただいた方がいいと思いますので。

母

え、はい。

女医

今日はあまり無理なさらずに。

母

……あの。

女医

じゃあ、お母様、後ほど入院の手続きを。

女医、去る。

母

赤ちゃんって……。これは……。誰の……。

男1 いえ、僕今初めて聞いて……。

男2 僕も。

男3 同じく。

男1 みんな何も知らなかったんですか？

男2 ええ。

母 ええ？ ……でも、この中の誰かが父親ってこと？

男3 ああ……、いやあ……。

母 だってやることは、やってらしたんでしょ？

男3 そんな言い方。

男2 それに他にまだ近藤誠がいるかも知れないじゃないですか。

男3 ……百合子が私と交際してたのは、名前が近藤誠やからですか？

男1 ええ？ そんなわけ……。

男2 それしか考えられへんですよ。

男1 だってそんなことする理由が……。

男2 だから、呼び間違えたりせえへんようにですよ。好きになった男

男1

がたまたま三人とも同じ名前ってないでしょ。これってねこれってね、彼氏おるのにたまたま他の人好きになってまうケースより、断ち悪いですよ。複数の男と付き合いたいがために、近藤誠を見つけ出してつき合っているとしか思えないやないですか。ということは好きでもないのにこの名前やからつき合ってるってこと？それか近藤誠って名前がすごい好きなんかですよ。さっきからすごい自虐的なこと自分で言うてますけど。

母

あの、娘のことさっきからぼろんちよんに言うてますけど。

男1

そら言いますよ。だって僕ら、タイプばらばらやないですか。名前だけじゃないですか。

母

それよりも赤ちゃんです。

男

……。

母

……もうそんな子供やないでしょうし、わかっているとと思うんで、聞きますけど、百合子のお腹の中の赤ちゃんの父親って可能性は？

男2

それは……。

母 妊娠四ヶ月くらいって言ってたけど、幅取って三ヶ月前から五ヶ

月前くらいで。……あります？ ある人。

男2 ていうか僕らの方が被害者みたいなもんじゃないですか。

母 ある人。

男2 ……(挙手)。

男3 いや、そのような聞き方は……。

母 あるのかないのか。

男3 ……(挙手)。

母 近藤さんやのに！

男2 いや、お母さんそれは……。

男1は手を挙げていない。

男2 手を挙げてないですけど。ホンマに可能性ないんですか？

男1 だって僕まだ一度も……。

男2

いやいやいやいや。七年でしょ？

母

……実の娘をこんな風に言うのはアレなんですけど。やってないわけが。

男3

正直に言うて下さい。

男1

いやホンマにないんです。結婚するまで待ってって百合子に言われてて。逆に聞きますけど、(男3に) 六月末からなんですよね。妊娠四ヶ月やったら。

男3

……。まあ、その前からいろいろと……。

男1

何であるんですか！ 七年も付きあって、ないのに。でも、真剣に交際して来ましたし、父親になるのに血が繋がってないとか関係ないですから。

母

そういえばみなさんって何のお仕事を？

男2

大学病院で働いてます。

母

お医者さん？

男2

はい。

男3

や、あの、わたくし、しがたい弁護士事務所を経営しております。

母

立派なお仕事されてるのに。

男1

小劇場で役者を……。

母

……じゃあ父親の可能性があるのはこちらのお二方ですね。取り敢えずここ病院ですし、喫茶店かどっかに移動しましょうか。(男1に) すいませんでした。娘が本当に申し訳ございませんでした。

男1

いやあの……。

男3

もし自分の子供やった時は、それはもう、きちんと責任も取りますんで。

男2

僕も、自分が父親やってなったら、それはもうねえ、はい。それはもうちゃんと。

男1

……。

母と男2、3、去る。取り残される男1。終わり。